

Vol.  
10

## クラリネットは音の引き出しが多い楽器

クラリネット首席 川上 一道 (かわかみ いちどう)



**Q** クラリネットを始めたきっかけは？

**A** 小学校でリコーダーの授業が始まる前から、祖父に買ってもらったリコーダーを好きで吹いていました。それが楽しくて、4年生のときに学校が分離することになって、新しい学校に吹奏楽部ができると聞いたとき、「俺はクラリネットを吹くんだ！」って思ったんですよ。たぶん同じ縦笛だからでしょうね。

**Q** クラリネットの魅力を教えてください。

**A** 音域が広いから、使える音がたくさんあるんです。高い音から低い音まで自由自在にかけめぐることができます。音域によって音のキャラクターがちょっとずつ違うので、クラシックにもジャズにもいろいろ対応できる、音の引き出しが多い楽器です。

**Q** 好きなクラリネット奏者は？

**A** 1番は、カール・ライスター(1959-93ベルリン・フィル首席奏者)！小学校6年生のときの吹奏楽コンクールの自由曲がリストのハンガリー狂詩曲第2番で、クラの大ソロがあったんです。その時に参考に見せてもらったのが、ベルリン・フィルのレーザーディスクで。このソロが世界で一番良い音だから、お前もこれを目指せ！って先生に言われてから、何回も見て、すごく意識するようになりました。今でもそれが原点ですね。他にも、ザビーネ・マイヤーやエルンスト・オッテンザマー、アルフレート・プリンツ、ヴェンツェル・フックスとか、たくさんいます。

**Q** 好きな作曲家は？

**A** やっぱり、モーツァルト、ウェーバー、ブラームスは好きですし、クラリネットの作品を書いた作曲家の中でも重要なので、外せないかな。それから、フランセやクルーセルも好きです。

**Q** 現在の使用楽器について教えてください。

**A** いろいろ併用していますが、主に使用しているのは、ヤマハのイデアルとセゲルケです。もうすぐ10年くらいになります。E♭クラはクランポ



ン・トスカ、C管とバセット・クラはセゲルケ、それから、クランポンのA管、B♭管もあるし、9本くらい持っていますよ。

**Q** 山形の最初の印象を教えてください。

**A** 2010年11月に大石田での演奏会で呼んでもらったのが最初で、かなり涼しいなと思いました。このときはバタバタしてて、あまり見てまわった覚えがないんですが…その後来たのが2011年2月のオーディションのとき。やっぱり雪が多いなあ。あ、余談ですけど、僕、雪で一度も転んだことないですよ。(笑) 米沢を通ったときに、新幹線の車窓から、白銀の世界ってこういうことなんだ！って初めてわかりました。

**Q** 出身地の沖縄と比べていかがですか。

**A** 四季が本当に豊かで全然違いますよね。沖縄は紅葉とかないですから。日差しは山形の方が柔らかいかな。でも、過ごしやすさとしては、沖縄の方が好き！山形はなんでこんなに暑い？って感じです！沖縄は風が流れていて心地良いんです。でも、食べ物は山形の方が美味しい！特に野菜や果物が美味しいですね!! ぜんぜん違う。水が良いから、お酒や米も美味しいですね。

**Q** 山形でお気に入りの場所やものはありますか？

**A** やっぱりお酒ですね(笑)。場所だったら、温泉です。最近、ようやく温泉の良さに目覚めたので、これからいろいろ回ってみたいなと思っています。あとは山寺、風情があってすごく好きですね。

**Q** 休みの日は何をしてお過ごしていますか？

**A** ドライブがてら買い物をしたり、温泉に行ったり。でも、元々家でゴロゴロするのが好きなので、あまり外には出ないです。

**Q** 最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

**A** いつも山響を応援してくださって、とても感謝しております。良い音楽で、良い時間を過ごしていただけるように頑張ってますので、これからどうぞ宜しくお願いいたします。

次回は、上野 健さんです